

単独病床機能再編計画

1 概要

医療機関名	八幡病院
所在地	岐阜県郡上市八幡町桜町 2 7 8 番地
診療科目	内科、消化器科、循環器科、小児科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科

2 令和 2 年 4 月 1 日時点の状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床数		44		27		71
稼働病床数 (A)		38		27		65

【参考：病床機能報告における病床数】

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
平成 3 0 年度 病床機能報告	許可病床数		44		27		71
	稼働病床数		38		27		65
令和元年度 病床機能報告	許可病床数		44		27		71
	稼働病床数		38		25		63

3 再編後の許可病床数

再編予定日	令和 8 年 2 月 2 8 日
-------	------------------

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床数 (B)		0		0		0
削減病床数 (B) - (A)	0	▲ 38	0	▲ 27	0	▲ 65

4 病床再編の必要性等について

【再編を検討した経緯】

人口減少や医療ニーズの変化等による患者減少、医療人材確保難、施設設備の老朽化等の課題を踏まえ、地域医療構想の実現に向け、郡上南部地域の医療を継続維持するために、市長、医師会長、両院長（市民病院・当院）での懇談で、入院機能を市民病院に統合することの合意が得られ、調整会議を重ねてきました

【削減病床数の考え方】

当院の現在許可病床は 3 8 床であり、入院機能の統合により、当院は 0 床（無床診療所化）となります。当院の入院患者を市民病院に転院いただき、市民病院は医療人材の集約により、休床の病床稼働が可能となります。当院の外来は継続し、郡上南部の医療提供（入院・外来）を守ってまいります

【その他】

■支給申請額算定シート

1	再編前の稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※3)の合計
	① 平成30年度病床機能報告			38		27		65
② 令和2年4月1日時点(※1)			38		27		65	65
③ 再編前病床数=②(※2)	0	38	0	27	0	65	65	65

- ※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変化があった場合は、変更前の病床数を記載すること。
平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。
- ※2 ①平成30年度病床機能報告時又は②令和2年4月1日時点の対象3区分合計のいずれか少ない方を基準とする。
- ※3 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	再編後の許可病床数 (=再編後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
			0		0	0	0	0

3	他の医療機関との病床融通数 (※4)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
					0	0
	うち同一開設者の医療機関との病床融通数					(0)

- ※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の医療機関から病床の融通を受けた場合はマイナス表記、病床を融通した場合はプラス表記とすること。
また、「(参考) 病床融通に関する概要」シートに関連する医療機関の病床数を記載すること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
		0	0	0

5	減少病床数 (1の③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
		0	38	0	27	0	65	65

6	過去に 令和2年度病床機能再編支援補助金 及び本事業で支給済の病床数	支給済病床数	5.減少数	4.うち転換数	6.支給済数	3.うち他院への 融通数	支給対象
		27	65	0	27	(0)	38

7	再編前の許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
① 平成30年度病床機能報告			38		27		65	65
② 令和2年4月1日時点(※5)			38		27		65	65

- ※5 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。

8	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
① 平成30年度病床機能報告(※6)			10,481	8,778	19,259
② 令和2年4月1日時点(※7)			10,456	8,016	18,472

- ※6 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数 = 年間在棟患者延べ数(48)欄に記載された数値 ÷ 報告可能な対象期間(月単位) × 12

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位) = 6

- ※7 7の①と7の②の値が同じ場合は8の②の入力は不要。

9	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用
A	平成30年度病床機能報告	81.1%	52	適用
B	令和2年4月1日時点	77.8%	50	

10	再編前の対象3区分の稼働病床数 から一日平均実働病床数までの減 少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		2,052	0	0

11	一日平均実働病床数から再編後の 対象3区分の許可病床数までの減 少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		2,280	38	86,640

要件 審査	90%減少チェック	○
----------	-----------	---

12	支給申請額(千円)	86,640
----	-----------	--------